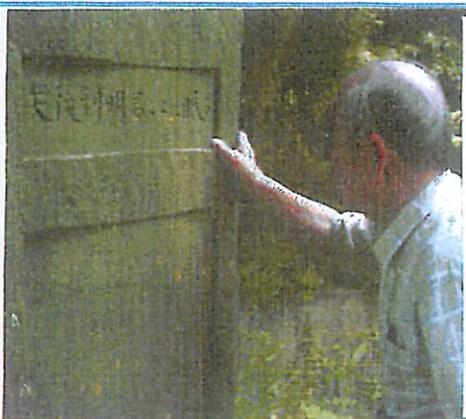


今から96年前……

国賠同盟総会・記念講演

県内最大の小作争議・前谷地事件



建立・1972年11月12日【笠岳山・笠峰寺】

千町歩地主・斎藤善右衛門(通称・斎善)の土地取り上げに対し発生した小作争議は、その居村・桃生郡前谷地の名をとつて「前谷地事件」と呼ばれる。この事件の発生は、昭和3(1928)年3月31日のことで、宮城県の農民運動の一画期を作るものであった。【宮城県農民運動史】中村吉治編、吉田寛一他十名著、昭和43年・日本評論社・発行】

みやぎ県民の『たたかいいの狼煙』



静岡県出身の矢後利明(本名・利一)が宮城県に入り、1902—1932)が宮城県に入り、日農県連書記長として、「これらの戦いの先頭に立ち、本人の「遺言」に基づき、「運動史刊行委員会」が、涌谷・笠岳山頂に「矢後利明・記念碑」を建立した。



宮城 420号
2024年6月
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮城県本部
〒980-0022
仙台市青葉区
五橋1-5-13
県労連会館 3F
国民救援会気付
022-222-6458
F022-222-6450

「前谷地・斎善家の財産」

(昭和22年・仙台財務局発表)

- ・財産税 1605万円
【仙台市の一般会計1300万円】
- ・土地所有 昭和20(1945)年
 - *田畠 1436.2町歩
 - *宅地 2747.6町歩
 - *山林 1170.0町歩
- ・小作料 *小作人2661人
*11268石(約28000俵)

治安維持法犠牲者国賠同盟

2024年度宮城県本部総会

日時 7月21日(日)13:30~14:00

会場 仙台市戦災復興記念館・4F

*記念講演は14:15~15:30です

講 演

芳賀芳昭
さん

年金者組合・県会長

高倉勝子・美術館で『原爆3部作』も鑑賞*****

登米町へのバス小旅行・参加者の感想

佐藤三千夫をしのぶ

ひとが、三平一夫を生んことを語らうとした。
地元の歴史や風土を
治安維持法犠牲者国

家賠償要求同盟宮城県

本部の横田有史会長

は、「記念のつらいを

繰り返す先覚者を語り

合ひしが大切です」

と語りました。

会場の後、佐藤三千

夫記念碑に移動し、佐

藤の反戦平和のたか

いを学びました。仙台

市をはじめ、宮城県内

各地から61人が参加

し、近年はない懇親と

なりました。

が、足が無いので、確保していただきたいと思います。た偉人をたずねて!! 期待いた
「佐藤三千夫」のことは「同郷」であり、我が家のお墓所の C.さん

すぐ近くに墓を見かけ「知りたい」と長年、気にしています。近頃を覚えました。登米の街は
ました。今回はからずも、歴史・教育・文化の街だと思いま
詳細に、現地で、見て聞いした。登米といふこの地が、佐藤三千夫さんを育てたのかなあと
て感激しました。

三千夫さんを育てたのかなあと

22年の短い(時間的に)生涯

思いました。参加してよかつた

でしようが、長く長く語られる

です。

【要望・意見】 懇談・講演会

22年の短い(時間的に)生涯

思いました。参加してよかつた

でしようが、長く長く語られる

です。

組みがいいと思います。

A・田中鳩子さん(青葉)
登米の生んだ偉人・佐藤三千夫のことより深く知る事
が出来ました。そして、共
産党の墓の最初に名前が連
ねてあることをはじめて知
りました。22歳なのにす
ぐの酒じゅに驚き。来年も
是非企画してください。参
加しますのでー!

の抗議活動に参加したいのです

【要望・意見】

も含め、観光・散策も含めた取り

B・菊池三智子さん(仙台)
「佐藤三千夫」とは「同
郷」であり、我が家のお墓所の C.さん



王城寺原の演習 etc 現在の
宮城県で起つてゐる事。

上=「佐藤三千夫記念碑」の詳細を
説明する金野文彦事務局長
中=老人ホーム会場一杯の参加者
下=バス参加の国賠女性部の方々

2024年5月6日(月・祝)に*****

佐藤三千夫の「呑牛忌」・碑前祭へ



2024/5/6

D・紺野 勇さん(泉区)
初めての参加です。どんな方々が来るかわからず不安もありましたが、思いもかけず、しばらくぶりで会う友達もいて、うれしい一日になりました。佐藤三千夫という国際主義・国際的な視野を持つ人物が、どうして登米町から出たのか、その背景を考えたら、私が研究した洋風小学校の背景と一致している」と確認できました。

E・さん
佐藤三千夫記念会に来れて良かったたくさん資料を用意していました。ありがとうございます」という言葉に、F・大友壽子さん(仙台)
佐藤三千夫について、よく知ること、郷土史の発掘が大切だという事を改めて感じました。

G・さん(仙台)
佐藤三千夫について、よく知ることが出来た。迎えて下さって良かったです。帰宅後、「ゴロー登米の方たちの話が、熱と氣の徳永直「妻よねむれ・日本人サトガニモツヒテ、より先人のトウ」を読了し、その生きざまに力を理解する」とが出来ました。され、一層深く、三千夫に触れた難づきました。

H・さん
連休でどこにも行かない中、出かけてみよつと想い参加した。

I・三浦一次さん
佐藤三千夫、布施辰治、千葉。ですが、佐藤三千夫という方の人生を知り感銘を受けました。色々勉強できた感じも勇気をもち続けたいものと思います。

J・大友壽子さん(仙台)
佐藤三千夫との関係、登米との関係を知つて良かったです。闘士とは違う、当時のたたかいと周りの人々の感情を伝つてきて、歴史を深める上で、このような記録は大切だと思っています。

K・高橋峻(たかし)の孫の勝義氏
芳賀さんのメモにある、菊池養之助さんをはじめ、著名人の一人の方の娘さんが何年か前、党員になって活動していますが、



佐藤三千夫を世に出した登米を語る
上段=徳永直の疎開先を提供した
高橋峻(たかし)の孫の勝義氏
中段=元共産党町議の新田耕哉氏
右段=碑と登米を語る芳賀芳昭氏

党員になって活動していますが、

現代に生きる宮城の戦前史を学ぶ

2008年に塩釜支部が作成し、本田勝利講演録「現代に生きる宮城の戦前史を学ぶ—3.15事件、4.16事件を中心とした宮城の戦前史」の2回目の学習会を、5月24日(金)に12名の参加で行いました。そのテーマは…

(2)、『3・15の弾圧』

3・30 前谷地事件

○前代未聞の大規模な検挙に乗

り出した1928年の3・15の

弾圧事件は、許しがたい見込み捜

査である。…実はその当時の活

動家というものは、あまり横の連絡

がないから分からなかった。要す

るに共産党員がどこにいるのか、

全然判らない。一網打尽に広く網

絡文書がでてきて、改めて全国

連絡し全国一斉を行なった。

私の「呑牛忌」との出会いは、毎年5月はじめに掲載されていた新聞赤旗記事です。変わった名前の行事を毎年実家の近くで開催されていてとても興味がありました。20年前、実家に帰省した折に記念碑を探し、人通りの少ない山中の道沿いで発見したときの感動を思い出します。

昨年は佐藤三千夫を世に知らせた徳永直の小説「妻よ眠れ」「日本

3・15大弾圧の秘密裏の仕掛け人は誰か。そしてその直後に起つた“宮城の狼煙”「前谷地事件」とは何か。その詳細と討論は、次号でまとめて報告いたします。

3・30 前谷地事件

文責: 村主 由美

3・15大弾圧の秘密裏の仕掛け人は誰か。そしてその直後に起つた“宮城の狼煙”「前谷地事件」とは何か。その詳細と討論は、次号でまとめて報告いたします。



の下ショウガユリ根を採つた「日根牛」の山並みだと書かれています。日根牛部落は私の母が生まれ育った場所です。

記念碑建立に関わった宮城県年金者組合委員長の芳賀芳昭さんの報告は私が初めて知ることばかりでした。芳賀さんは今回の「呑牛忌」開催をわくわくしながら待つたと感激の面持ちで語りはじめました。佐藤三千夫の記念碑建立に全余生を掛けた須藤直一郎さんのこと、画家として唯一被ばく当事者が描いた原爆絵画を展示している「高倉勝子美術館」の勝子さんは徳永直の疎開家屋を提供した高橋嶌さんの娘であることは初めて知りました。

事務局長の金野文彦さんは来年は新たにまとめた資料を提供できると語ります。来年もぜひ参加したいと思いました。開催準備をされた代表の秋山英俊さん(秋山写真館)工藤順子市議はじめ地元の皆さんへの労に感謝いたします。

次回 6月10日(月)2時~4時

仙台市サポートセンター

「五日市憲法」=千葉卓三郎の『墓じまい問題』

朝日新聞

憲法の日に特集記事を掲載

2024年(令和6年)5月3日(金)

第3種郵便物認可

民主憲法の父 おぼえていますか

千葉卓三郎の肖像画
千葉卓三郎の名前
千葉卓三郎の記念



アシサイの花で知られる
の臨濟宗の名刹・資福寺
(仙台市青葉区)
本草わきの墓地の中には
と空いた圓形がある。跡
継ぎがこの先いらないとい
いふことで、一昨年秋、墓
じまいになった。

千葉家之墓。ここには
「民主憲法の父」が眠っ
ていた。

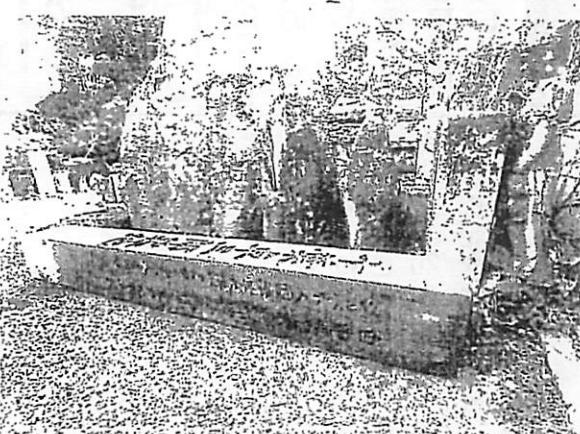
五日市憲法起草

明治初の自由民権運動のなか、進歩的な私
擬憲法を起草したことで
知られる千葉卓三郎(1
852~1933)だ。

長く知られずにいたそ
の草案は、1968年、
東京・五日市町(現あき
る野市)の土蔵で見つか
ったことから、「五日市
憲法草案」と呼ばれる。
ひつくり行われたす
の墓じまいは、だから、
つむかひ、五日市

千葉卓三郎 墓じまいの後、行き場失った標柱

以前は等のそばに建てられていました。別の場所
で倒しに運びかかれている。(仙台市青葉区の資福寺)



宮城では、郷土出身の
卓三郎を顕彰する機運が
高まる。600人以上の
寄付を集め、1979
年、墓のあつた資福寺
に、篆文の抜群を銘板
にした記念碑がつくれ
れた。墓のそばには大き
な石の標柱も建てられ
た。

標柱には、彼が名乗つ
た愛称が刻まれている。
「千葉卓三郎墓地 タク
ロン・チーバー氏」
それが流れた。

元仙台市博物館長の佐
藤憲一さんは「風の便
りに運びまわることを聞
った。」
それから40年余りの用
紙を今年3月、資福寺に
出した。

たが、渋谷芳田佳藏
さんは、「別の考え方があ
る」。

一部の文字欠損を
お詫びします。

その精神 伝えていく動き



佐藤憲一さん

新しく世の中をつくる
の権利自由を尊すべし、
市志波姫で仙台藩士の家
に生まれ、維新後の東京
に出て教師となる。そこ
で仲間と議論を交わし
は族籍位階の別を問わ
ず、法律上の前に対して
争ったのが全204
条の条文だ。

は平等の権利たるべし
とお語っていた。

47条 おもぞ日本国民
は族籍位階の別を問わ
ず、法律上の前に対して
争ったのが全204
条の条文だ。

が編まれた。中でも「基
本的人権の保障や法の前
の平等などを定めた五日
市憲法草案が、日本国憲
法の先取りと言われ、発
見は大きなニュースとな
った。

標柱は境内の別の場所に
建立に奔走した一人だ。

一方で、「こんな反省

が忘れ去られたかのよ
うになつていいのは、い
かがなものかと感じた。

郷土の先達ゆかりの地
が忘れ去られたかのよ
うになつていいのは、い
かがなものかと感じた。

「記念碑は建てたもの
の、その後、卓三郎のこ
とをよろしく知つてもら
い、精神を受け継いでゆ
くこと」のう努めが、私た
ちには怠りがなかった」

佐藤さんは、博物館学
部員だった30歳のころ、
資福寺の記念碑と標柱の
建立に奔走した一人だ。

一方で、「こんな反省

もじたといふ。

と読み下すべきでしよう」

「墓など無用」と言い残
した虎哉和尚、臨濟宗
の教えた話を踏まえると
して、恭谷さんは「平等
を旨とする寺で、卓三郎
だけを特別に奉る」とほ
ど、「おもぞねじらしい場
所に置すべきだ」といふ
事を出した。

「標柱は、五日市な
ど、わざとおもねじらしい場

所に置すべきだ」といふ

7月10日 新たな運動立ち上げへ!

5・15

国会請願に参加して!

石巻市 原 伸雄

治安維持法制定100年を翌年に控えた今年の国会行動に大崎支部の小畠茂さんと二人で宮城県を代表して参加してきました。

最初に全国集会が開かれ、35都道府県から150名が参加し、吉田万三本部会長に続いて、10歳の菱谷良一さんの「治安維持法犠牲者として、国賠同盟の一員として声を上げ続けたい」と力強く挨拶され大きな盛り上がりとなりました。私は、開会前に90歳をあした。私は、開会前に90歳を目の前にしてお元気な伊藤千代子の映画作成の立役者・藤田廣登さんにお会いし、「いま無産者医の草分け、27歳で獄死した中島辰猪に光を当てようと頑張っている。千代子の映画で頑張ってくれた横田有史さんによつて」「なじと山

葉を交わしました。また吉田会長からは「新医協の会長を務めた岩倉政城さん同盟に入つてるかな?」と声をかけられました。

午後から、小畠さんと組んでの議員回りは次の様な状況でした。

*事前に三浦一敏石巻支部会長から電話を入れてもらつていた

*安住淳議員：女性秘書から「三浦さんよりお聞きしてました。た

だ国対委員長の立場で紹介議員は困難」みたいなことを言い始めたので昨年のことを話していく内

に奥の方から男性秘書の「署名は預かって」と声がかかる。反省：

国対だからが本人の弁なのか確認しないでしまった」と。

*岡本あきこ議員：受付での確認

時」「インターンフォンは鳴らす

国会請願行動



思ひを語る「生活図画事件」被騒言の菱谷良一さん(102)=15日、東京平代田区

治安維持法犠牲者は衆院第1議員会館で15日、治安維持法による弔慰者への国家賠償法制定を求める国会請願行動をしました。全国から150人が参加。後に各政党の議員を訪ね、請願行動しました。

*資料を玄関ポストへとのこと。署名も入れてきました。感じ悪し。

*鎌田さゆり：女性秘書が元気に応対、エールの交換をしてきました。

*高橋千鶴子議員：在室も質問準備が忙しいとのことで、3人で写真撮影。お茶を待つたが、みな忙しそうで、議事堂良く見えるところを教えられ、茶を濁らされたところで苦笑。

吉田万三中央本部会長は「絵を描いた、作文を書いた、本を持っていただけ多くの人が特高警察によって刑務所に送られた。一般庶民にとっても、こうしたことが話せない監視社会だった。私たちは

復讐を求めて続けた」と

国家賠償法制定を 治維法犠牲者が請願行動

【次ページ・最下段へ】

治安維持法犠牲者は衆院衆院議員、山添拓参院議員、立憲民主党の近藤昭一衆院議員が駆け付け激励しました。午前中に集会を開き、午後は「生活図画事件」被騒言の菱谷良一さん(102)が発言。「今、何らかの公的姿勢を示すのが当然ではないか。治安維持法被騒言の一人として、同人が道に反する悪法で、あつたと認める△犠牲者に謝罪し、賠償を行なう△犠牲の実態を調査し、その内容を公表することを国に求めています。

吉田万三中央本部会長は「絵を描いた、作文を書いた、本を持っていただけで多くの人が特高警察によって刑務所に送られた。一般庶民にとっても、こうしたことが話せない監視社会だった。私たちは復讐を求めて続けた」と

ありのままの生活を描く美術教育を実践していた旭川師範学校の美術教師や学生らが逮捕された「生活図画事件」被騒言の菱谷良一さん(102)が発言。「今、何らかの公的姿勢を示すのが当然ではないか。治安維持法被騒言の一人として、同人が道に反する悪法で、あつたと認める△犠牲者に謝罪し、賠償を行なう△犠牲の実態を調査し、その内容を公表することを国に求めています。

吉田万三は「国家賠償をさせ、政府は二度と犠牲者を生まないようになります」と述べました。山添昭一は「治安維持法の犠牲に調査も謝罪も反省もなきでいい」と、が新たな戦前を生む止めるために、みなさんとがんばりました」と語りました。

ち化赤旗

「みやぎの憲法行事・参加企画」=『故・本田勝利さんの講演記録の上映会』

國民はどのように戦争に巻き込まれてきたか!!

「みやぎの憲法行事」として本田勝利さんの講演記録の上映会が9月6日に行われ、125名が参加しました。三回の上映では県委員会を代表して三浦一敏県議団長、中島康博県委員長、ふなやま由美



共産党との
共催で開催

今を考えさせる、感動のお話♪

『わが地域でも是非上映したい!!』

完成しました！ 150分・1000円

好評発売中です！

注文先

国賠同盟眞日本部F・022-2222-6450
塩釜・後藤行男 090-9423-0135



『とても中身の濃い講演だった』で、大いに盛り上がる。＊東北ブロックで分担し、以上の人でしたが、衆議院第1、第2と参院会館を約2時間、1万歩。逢沢一郎など自民の重鎮ともすぐ伝わって感動しました』などのアンケートが多数寄せられました。又「うちの地域での上映会も是非アンケートが多数寄せられました。アンケートが多数寄せられました。又「うちの地域での上映会も是非開きたい」という要望も、数ヵ所挨拶。国賠同盟の横田有史会長と遠藤いく子副会長が閉会の挨拶を行いました。参加者からは『戦院』は完売。塩釜支部発行の本田前年の弾圧法の数々の特徴など、知らぬ間に生かす宮城らの話が参考になった』10年の戦前史を学ぶ』も急速増刷し、前の講演でも、今を考えさせる』し、多数購読されました。

*閉会集会で、今年の署名は昨年を3000筆上回り114500余になつたと発表。長崎からは、補選で当選した山田勝彦議員とも会え、お茶をこ馳走になりながら歓談でき、市民と野党の共闘の重要性が強調されました。100周年に向けて頑張ることを確認し閉会しました。宮城の紹介議員の確認も未了ですが、果たして全体で何人になるのでしょうか。

辞めさせるように議員によろしくで、大いに盛り上がる。



治安維持法賠償同盟のすべての会員の皆様へ

様

2024年度・第34回県本部総会へのご案内

日頃のご活躍、大変ご苦労様です。

6月19・20日に開かれた国賠同盟の第41回全国大会では、次の様な運動方向が確認されました。

- (1)、来年は、治安維持法制定100年を迎えます。にもかかわらず、国賠同盟が掲げる「二つの運動目標」=①治安維持法犠牲者への国の謝罪と賠償措置を実現すること。②治安維持法犠牲者などが、憲法の平和と民主主義の礎を築いた功労者であり、その顕彰措置を実現すること。=という極めて当然の措置が取られていない国は、世界で日本のみと言わざるを得ない、極めて許しがたい事態であり、改めて全国民の共通理解に広げること。
- (2)、そのためにも、毎年取り組んできた「請願署名」の運動規模を、国民の隅々に広げるため、創意工夫を發揮し飛躍的に展開することが、極めて重要であること。
- (3)、政治的混乱に乗じて、自公政権や維新などの右翼勢力は、「世界第3位の軍事大国化」と「国民監視体制」を一気に進めるための法案を次々と強行。「新しい戦前」づくりに邁進しており、その動きに歯止めをかけることは、日本国民の歴史的急務となっていること。
- (4)「裏金問題」「脱税問題」などへの国民の怒りは、かつてない広がりを示しており、『一刻も早く解散総選挙に追い込み、市民と立憲野党の本気の共闘で、自公政権を終わらせる戦いを推進する』と大会は決定したこと。
- (5)、一方、軍需産業(死の商人)をはじめとする巨大な財界マネーを駆使して、維新・連合など様々な反共団体などを駆使した「市民と立憲野党の共闘つぶし」、「共産党排除」「マスコミを使った国民だまし」等々の策謀は、極めて大規模に展開されており、正に「剣が峰の局面」を迎えていると言って過言ではないこと。
- (6)、歴史的な局面を迎えており、『歴史の検証と再生』を求めて運動を推進してきた「治安維持法賠償同盟」存在と役割が今ほど重要な時はない。国賠同盟の運動と組織を大きく広げる取り組みは緊要であること。

このような立場を堅持し、北海道や千葉県など、すでに多くの都道府県が生き生きとした活動を開催しています。そうした全国の経験にも学びながら、宮城県の活動方針などを決める総会です。ぜひ誇り高い会ってご参加下さい。

2024年7月吉日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟・宮城県本部会長 横田有史

日時 2024年7月21日(日)午後1時30分～3時30分

【1時30分～2時30分、総会・討論・採決 2時30分～3時40分、記念講演・質疑】

記念講演『みやぎ県民のたたかいの狼煙＝前谷地事件』

講師 芳賀芳昭さん【日本年金者組合宮城県委員長】

会場 戦災復興記念会館・4階第2会議室 【青葉区大町2-12-1】

☎022-263-6931 *地下鉄・大町西公園駅・徒歩8分

宮城・号外
2024年6月
治安維持法賠
同盟宮城県本部
〒980-0022
仙台市青葉区
五橋1-5-13
県労連会館3F
☎ 022-222
-6458
F. 022-222
-6450

治安維持法国賠同盟第3・4回県本部総会議案（最終案）

2024年7月21日(日)～3時30分～15時30分

戰災復興記念館田舎第1会議室

一、今日の情勢と国賠同盟の課題について

治安維持法下で多くの有能な若者が犠牲になつて、追憶され命を奪われた。やつした時代状況の中では「我が國の平和と民主主義を求めた先達たちは、労働者と小作農経農民との同盟を基礎に四つの政党を結成するなど、1920年代に、国民主権の政治をめざし、絶対主義的天皇制と軍国主義」、本格的な闘いと抵抗を開始した。それから一世紀という時代を経て今日、先達たちの戦いを継承しているのが同盟は貴重な教訓を土台、「NOONO年代」に同盟要求の正しい解決を得るために「「万々同盟の建設」とその由来の達成を決意し、運動を展開してきました。

今年の6月19・20日に開催された、国賠同盟第4回全国大会では、やつた基本方針を踏まえ、次の様な立場を堅持して運動を推進する」とが確認されました。

(1)、来年・2025年、「治安維持法制定100年を迎える。にもかかわらず、国賠同盟の「」の運動目標」は「○治安維持法犠牲者への國の謝罪と賠償措置を実現する事。○治安維持法犠牲者などが、憲法の平和と民主主義の確を築いた功労者であり、その顕彰措置を実現する事。」と「極めて当たり前の措置を、日本政府は執り行つてしません。世界で日本のみに頼るを得ない」の極めて許しがたい事態を、改めて全国民の共通理解に広げること。

(2)、そのためにも、毎年取り組んできた「請願署名」運動の規模を国民の躍々に広げるため、新たな創意工夫を發揮して飛躍的に展開する」とが、極めて重要な事。

(3)、自公政権や維新などを含む反共右派勢力は、「軍事費43兆円の軍事大國化」と「国民縦隔阂体制」につれてを一気に進めるための悪法を次々と強行。「新しい戦前」に発進しておつ、その動きに歯止めをかけよ」とは、日本国政の歴史的任務となつてゐる。

(4)、自公政権に対する「裏金問題」「脱税問題」などをめぐる国政の怒りは、かつてない広がりを示しており、大会は「自公政権の暴走を食い止め、一刻も早く解散総選挙」を追い込み、市民と立憲野党の本気の共闘で、一人区勝利をはじめ過半数を獲得し、自公政権を終わらせの戦いを推進する」とを確認した。

(5)、一方、軍需産業（死の商人）をはじめとする巨大な財界マネーを駆使し、維新・連合や様々な反共団体などを総動員した「市民と立憲野党の共闘」、「共産党排除」、「アベノミ」を使ひた国民だまし」等々の策謀が大規模に展開され、正に「銅が峰」の局面を迎えてゐる。現状ではな。

(6)、歴史的な局面を迎えたのもうべき現在、文字通り「歴史の検証」を掲げて運動を推進して来た「治安維持法国賠同盟」の存在と役割が、今日ほど大きく求められて居る時はない。まさに同盟の運動と組織を大きく広げる取り組みが緊要である。

以上のよひな観点を堅持して、北海道をはじめとする多くの都道府県で、飛躍的な活動が展開されていいる状況が、大会の発言を通して確認され、来年に向けた新たな運動の展開が強く決意されました。

二、前総会以降の県同盟の活動と今後の主な取組み

(1) 国会請願署名の飛躍的前進について

1、今年度の国会請願は5月15日に行われ、宮城から伊豆大崎の1支部の代表が参加。昨年に続く事前の国会議員県内事務所訪問については、昨年に新たに安住淳氏が紹介議員加わったため、今年は立憲民主党和

の残る岡本あき子事務所を横田（東洋平和館）にて野事務局次長が訪ねて要請を行いました。その結果、請願紹介議員は高橋千鶴子、若柳とも、鎌田セツコ、「石垣の妻」、安住淳議員で、岡本あき子議員は今年も引き受けましただけませんでした。

2、宮城県は個人署名が15233筆（昨年は1340筆）、団体署名は15筆（昨年は80筆）を請願しました。昨年よりも少し前進ですね」とながらもさしあたが、全国提出数11万5,149筆の対有権者比率が0.114%に対し、宮城は0.082%と大きく遅れています。来年5月に向けては請願署名の自主目標、個人4400筆、団体250筆の達成を目指し、会員一人一人が5筆10筆と集める運動を行います。特に団体署名については、先行的取り組みを重視し、昨年の取り組みにも学び、各団体の支部や班なども対象にした要請行動を展開し、個人署名の広がりにもつながるよう努力します。

（1）講演会やサミット・顕彰活動の推進について

宮城に関係する治安維持法犠牲者と歴史的先人の実像などを学び、顕彰・普及する活動を重視してとつべこべやがおした。憲法行事や各種の記念祭会などを振り返り、国賀運動の中心課題として推進します。

（1）「ふるやの憲法行事」参加企画の県・支部協力した取り組み

1、5月20日、新米を中心とした「佐藤三十六記念会」が再確立され、憲法行事として、柏生町佐藤三十六を世に伝えた新米を語る』が60名以上の参加で開催されました。国賀同盟は仙台支部を中心にバス参加を組織する等、その成功のため努力しました。今後の継承、発展を引き続き求めています。

2、国賀運動改修部は、5月21日「映画『衝突』の上映会を開催。50名以上が参加し、満席となりました。

3、6月10日、故・本田勝利講演記録のDVD上映会『國賀はひのゆひ』戦争に巻き込まれてきたか』を日本共産党との共催で行い、120名が参加。「10年前の講演でも、今もまだやがる」「とても歴史の濃い講演だったなど」感動の声が多かったです。DVD（500円）を作製して普及します。

4、今年の総会にて記念講演として、芳賀芳昭氏（年金教組和宮城県本部委員長・越米正典）による県内最大の小作争議『前谷地事件』の講演を行います。

5、7月27日（土）には、塙益支部が主催し、全国で話題になつてゐる、桜大樹（はなぶらだいご）弁護士を招いて『想の中のハイオン』に宮城県・野瀬講演会を行います。

（2）「安重根と千葉十七の顕彰運動」の再開を図る『全県系列顕彰会』の開催

【小川説明会『安重根と東洋平和館』講演会、6月24日（土）・栗原市若柳公民館】

昨年7月24日（土）に、栗原九条の会の門傳恭長氏と関係者や若柳の菅原勇喜栗原市議、そして国賀同盟がい横田泰輔5名が参加して相談会を開催。田植え前の「1円」に「安重根の東洋平和館」の講演会を開催する」という合意。6月24日（土）、栗原市若柳公民館において、志波姫の九条の会、地元史談会の方、伊豆沼のガンを手取る林村長、熊谷県議など、仙台からも10数名が参加。60数名の参加で、発言も多岐にわたり盛り上がりました。講演後、若柳・大林寺の「安重根義士の碑と千葉十七の墓」を訪ねて合掌。案内看板の設置場所などを相談するなど今後の取り組みも詰し合われました。

斎藤泰彦住職の高齢化と70周年以降は中止が続いている、日韓友好の改善のためにも斎藤泰彦が来日し交流会などを実現してきました。

【南溝川ハルビンド、日韓両会を強行し、朝鮮国民党多数を殺害した伊藤博文を銃殺した安重根は、今日でも向

韓国、朝鮮國「最高の英雄」です。日本の獄告（ハルビン）で6か月間看守をした千葉十七と親類の情が結ばれ絞首刑になる直前に、想いを墨にしたため千葉にわたす。戦後郷里の栗原やその遺體を保管していたが、千葉十七亡き後に韓国に渡還。千葉十七の菩提寺が若柳の大林寺で、これまで韓國領事や本国からも安を慕う故郷の

韓国人が来日し交流会などを実現してきました。】

（3）「高橋とみ」J農前祭」運動のための発展を図る取り組み

沿岸維持法犠牲者「高橋とみ子」。1924年の彈圧・検挙事件の一人で、中新田警察署で拷問され獄死

しました。(二四歳)「血絶診断」とされました。前に何も傷が残ってらず、虐殺・非業の死であることは明白で診断医師も証言しています。昨年は一・二月の日曜日参加で行われ、佐藤和歌子先生の「『慰謝』多田トリーの生涯」の講演が行われました。仙台支部を中心に新たな取り組みを検討中です。

(4)、布施辰治顕彰活動の取り組みについて

2016年に国賀和義支部が結成され、2018年一月から4月までの「不遇」に「治安維持法と朝鮮」が連載され、布施辰治(日本人で唯一の韓国「建国勲章」の授与者の存在を記載した)とともに契機となり、2018年に「布施辰治没後65周年記念行事の開催、2021年の6月に「顕彰する会」の再設立総会などが開催されました。辰治の生家の当主や韓国領事、石巻市長も参加し毎年開催され、韓国政府の調査団も顕彰碑を訪問しています。昨年は「没後70周年」の記念講演が行われ、約200名が参加、記念誌も発行されました。仙台からはバス参加が行われ、今年の日開催も、リリーアー開催が検討されています。

(5)、坂猶興・墓前祭(塙蓋支部主催)の取り組みについて

坂病院・宮城厚生園体の創設者でもある坂猶興墓前祭が、塙蓋支部の主催で4年前から行われており、今年も2021年7月に仙台北山・円満寺で行われました。今年の日、「坂病院や精神院長の村口至氏が著した「社会運動家・坂猶興と坂病院=平和を求め戦争政策と闘つた医師人生」を国賀塙蓋支部が出版し、民医連運動の原点を学ぶ上でも、その顕彰運動が極めて大切になっています。

(6)、五戸市憲法草案・千葉早三郎の顕彰運動の新たな取り組みについて

「五戸市憲法草案」が発見されたあわせに仙台市五戸市と千葉早三郎の墓地がある仙台市北山の資福寺、そして生誕地・栗原市志波姫の3か所に同じ記念碑が設置されていますが、これは仙台の辻見氏などの陸中守者と島野武・元仙台市長が呼びかけて同時に建立されたものです。その詳細は、1980年志波姫町奉行記念誌「政治家・千葉早三郎(1919年11月~2日)、色川大吉講演『人権の先覚者・千葉早三郎』などに集約されています。

県本部は、2018年、「五戸市憲法と千葉早三郎」を訪ねる旅を行って、東京あわい駒込「五憲の会」事務局長鈴木富雄氏の案内でお話をしました。パンフを作成してから2018年部普及、今回ついに贈呈するなど、その顕彰運動を進めてきました。しかし、昨年暮れに墓じまいされ、その後九条の会などによる仙台市への申し入れ、有志による住職への働きかけなどを実行してきましたが、結果、話すことはほとんどできませんでした。(経過の詳細は「不遇」「治安維持法と現代」に掲載) 今日までの顕彰活動の反省として、廿四〇〇円「千葉早三郎から学ぶ会」を発足。(横田市長も世話人の一人) 全市民的顕彰活動を推進すれどになつます。

(7)、蔵王町矢臨の「新憲法発布記念碑」碑前の集いについて
終戦の翌年、一九四六年十一月二日の「日本国憲法」公布の日記念式典が行われた、全国まれなこの碑は、戦争の惨禍を繰り返させたくないところへ、復帰者や地域民の思いが込められており、今後も大切な行事として継続する必要があります。

(III)各種の学習運動・映画の上映活動などの推進について

1、中央機関紙「治安維持法と現代」の普及について

同盟中央機関紙「治安維持法と現代」は、全国各地の様々な経験や歴史が語られ、人間味溢れる内容で活動家必見の本です。血の體説し経験などを学ぶとともに、普及すれば同盟のすそ野を大きく広げたいことにもあります。年一回の発行で価格は1000円です。

2、新発行の「治安維持法とは何か—誰がなぜ何をしたために」の学習・普及運動について

國賀和義中央は、「6月」、表題の「牙齧テキスト」(500円)を発刊しました。各役員会での学習会をはじめ、少人数での学習会や講演会など、学習・普及運動を積極的に推進しあります。

3、県同盟発行のパンフ等の普及の積極的推進について

*「治安維持法と朝鮮」布施辰治の活動を題とする・価格500円(500部)、

*「東北放送」ジオーラジオの歴史の影—治安維持法の像など・源田300円(1000部)

*「五日市憲法草案—仙台署が生んだ起草者・千葉早川邸」・源田200円(1000部)

*「治安維持法の犠牲になつた—高橋とみ子不屈の青春」・源田100円・増刷、

*新、「本田勝利・講演録・現代に生きかす宮城の戦記史を歩む」3・15、4・16事件を中心」(源田100円)

*新、「本田勝利・講演録の「國政はるのよし」として「戰争に参戦したか」(源田100円)

*新、「村口至・著『社会活動家・坂道興と坂道院一平和を求める政策と闘つた医師人生』(源田100円)

4、映画「伊藤千代子の生涯」の「ひなな」上映と「衝撃」などの上映運動の推進について

映画「伊藤千代子」上映運動は、21年度から、県同盟として各支部と協力し、また、各団体・個人と連携して地域との実行委員会「いづをお」など、22年3月の検査試写会、5月1~2日の中島試写会が始まり、全県13か所で開催された約200名が参加。映画の感動が、社会進歩を求める人々の羅針盤として生きています。

全国10万人以上が鑑賞し、「映画大賞」を受賞。新しい方針に基づき、引き続き「未上映地域」や、小さなサークル単位での上映運動を無数に開催するため努力します。

又、衆議院選挙委員会などでは、「千代子」上映会の剩余金を活用して、「衝撃」などの社会的映画の上映運動を開開、国際婦女大会も積極的に上映活動を開催しております。全県での取り組みが求められています。

5、女性部・婦人支部の「近現代史研究会」について

毎回で行われてきた「学習会」は、40回以上を重ね、「日本近現代史を読む」を終り、第2回戦闘」へ進んでいます。11月の学習運動を元に上げ、全県各地で努力しましょう。

(四)、治安維持法犠牲者、『宮城県名鑑』の完成を目標とする取り組みについて

1、國賀同盟によるJの間の取り組みで、高橋とみ子と大友鑑子の発掘などがなされました。また、「島ながら」(アシア・太平洋戦争を前に)として日本軍占領下の南洋諸島に被差別のある「思想犯」を強制して入植させた。宮城で判明しているのは22人など、宮憲資料からは得られない事件も明らかにされております。しかし「謝罪と賠償」を要求する「有資格者(犠牲者)」を特定する宮城県取り組みは、鈴木善蔵・小田島謙良・大沢耕治氏などや「不屈」への連載記事の掲載など、様々な努力がなされましたが、完成に至りませんでした。

しかし今回、渡部八郎氏が10年懸けて作成した「宮城で治安維持法違反などのよつて検挙や起訴された人たち」(改訂版)が国賀同盟本部に寄贈されました。その寄贈本について、本田勝利氏にその監修を昨年の亡くなる直前まで行つていただきました。

2、その監修・原本をもとに、今年の四五、六〇名の方にお願いして「編集作成委員会」を発足。五月末までの「加筆・修正意見」を提出していただき、現在、七月末までの第一次「加筆・修正」などの意見を求めています。八月中には「委員会」を開催して内容の最終確定を行ひ、印刷発注とさせています。同時に、昨今の物価上昇により、最低価格は31000円を買込まざるを得ず、チラシを作製して「購入希望者」を募り、発行部数を確定したいと考えます。永年の課題である「犠牲者名鑑」の作成を実現するため引き続き努力します。

(五)、宮城県同盟の歴史的検証を推進するための画面の取り組みについて

1、「宮城県同盟総会の記録と歴代役員名簿」を整理し記録します。

2、「みやこの憲法行事」等、国賀主催・共催の講演などの行事の実施状況をまとめ今後に生かします。

3、「不屈」(宮城版)、「島の中の青春」に登場する宮城県の方々のまとめを行い、新たな広報について検討します。

(六)、県・支部同盟の強化・拡大を推進する取り組みについて

治安維持法制定100周年を来年に控え、「新しき戦前」と呼ばれる政局が急速に展開する下で、頭に示したように、41回全国大会では新たな課題を提起し、すでに全国各地で活発な運動が展開されています。

1、「県本部体制」の充実強化について

全国各地の先進的取り組みにも学びながら、宮城県本部の充実・強化は急務です。殊に永年役員を経験してきた赤間政子さんと佐藤ひいこさんを失い、将来を見据えた体制の強化・拡大を検討・推進します。

2. 全県各地に支部を建設し、支部活動の確立・強化の推進について

(1)、全国的にも、各地域に生き生き活動する支部を建設・確立する」ことが重要課題として提起されています。宮城の塩釜支部は、全国のモデルともいべき活動を推進しており、学びながら支部活動の強化を推進します。(2)、中心的役割を担う「仙台支部」は、昨年に総会を開催し、支部体制を再確立しました。8月の支部総会では、役員体制のよりなる補強・拡充に努力し、来年度総会では「東」と「西」に支部が分離・確立する」と見据えた取り組みを推進します。

(3)、「栗原市」は地域が広大で、「安重根と千葉十七の大林寺」「千葉早二郎の生誕地」「銀倉鉱山問題」などをお抱え、「栗原支部」の確立強化は急務であり、大崎支部、関係者との協議・促進を進めます。

(4)、「若牛忌」や農民運動の発祥の地である登米市と共に氣仙沼市に支部を確立する」ことは重要であり、関係者・石巻支部と協議して支部の発足・確立を推進します。

(5)、仙南支部は、支那役員体制の補強・拡充を図ることを、「広域団体をしなかつた特性を生かし、市町村単位」「十代子の故郷や小規模学習会などを開催し、国賀同盟の役割と会員拡大を推進します。

(6)、大崎支部と石巻支部は、女川原発問題、放射能汚染問題などの地域的運動と結び合って国賀同盟の存在と役割を発揮し、役員体制の拡充・定期開催の確立などに努力し、支部の拡大強化を推進します。

(7)、各支部「」とし、関係地域の「歴史的事案」、「顕彰すべき個人や課題」などを研究・発掘・整理し、具体的な「顕彰活動」を推進します。

3. 会員拡大の大きな推進について

(1)、今日の情勢に鑑み国賀同盟の組織と活動の発展・継承は、極め緊急の課題であり、全国的先進事例も広がっています。会員の拡大のとりくみはその基本です。昨年総会時点の会員は「71名」で、次期総会まで「300名」目標達成田押して取り組んできました。その結果、6月30日時点では、新規加入者が「」名物故者などの退会者は「」名で、現勢は「290名」であります。7月22日総会まで「300名」会員を必ず達成するため奮闘中です。(7月6日時点だと残り「名」です。)

(2)、全国2万5千回達成のため宮城県は、次期総会まで「新た」「会員やかどり国賀同盟」の達成を田押し、全力で取り組みます。そのための支部「」と、地域「」の達成目標を次の通りとします。

仙台・160(130・直川・角館)、塩釜・85(78)、仙南・35(26)、大崎・栗原・115(115)、
石巻・登米・45(37)、伊具・35(30)(20)(20)、*(*は7月6日時点、総会時点・会員数は総合で

4. 同盟の財政と機関紙について

財政は県同盟の運動を支える物質的な基盤です。昨年度の9割納入に続いて、会員名簿の整理や正確な実務に努力してきましたが、今期は各部の会員からの会費納入にとどまらず、会員からの振込みではなく塩釜・石巻・大崎支部では、会員さんへの訪問・対話を大切に会費・財政カンパ活動に努力してきました。又、塩釜支部では「不屈」を支部で配達して、郵送代の削減を行ない県財政に貢献してきました。今年「10円」は郵便料金の大額値上げが行われることになつておらず、従来の慣例である郵送配布の仕組みを、支部管理の配達に改善する努力を進めます。

(十)、「東北アロック交流会」の成功を田押す取り組みについて

「東北アロック交流会」は、今年は宮城担当だ、「10月15・16日に秋保クレセントホテルで開催されます。(宿泊参加費・1万5千円、田県2,2千円)」田県午後の記念講演は、(医師)「海防維持法(100年)と日本政治と東北」・永島良雄(新・国際事務局長、東京山宣会会長)。「田県午前の宮城の特別報告は、村口至先生と協議中です。宮城県の活動の飛躍のためにも、全県で50名以上の参加を必ず実現します。」(以上)

宮城の用いの軌跡（一）

みんなが歩いていた頃に

前谷地事件の群像

みちのく赤鬼人

怯む者など 誰もなく、
面を挙げて対峙する 男と女。
純白の制服を泥にして 制帽を奪い
土の上では 百姓たちが 勝つた。

歩きつづけ 集結して 百姓たちは勝つた。
後に来る弾圧を想う 青年 矢後利明。

歩いたのだ。草鞋もいたし、
ちびた下駄も
裸足もいた。腰には糧飯。
鍬を鋤を背にかついで
男たちは 歩き始めた。

三・一五事件の わずか半月後のこと。



権力の牙が襲う。豊里村・篠原源吉を、大友庵を
そして指導者 矢後利明をも。
民衆の弁護士布施辰治が 起ち、
闘いは 法廷へと移る。
民人の闘いが 敗れつづけたあの時代。
民人が闘うために 歩きつづけたあの時代。

矢後は 三〇で死んだ。

『彼は警察で結核菌を注射された』と

首に赤いスカーフのピオニールの子供たちも、
伝令の役割に震えながら 親の後を必死に歩いた。
登米から 米山から 丸森からも。

宮城の村々から 百姓達が歩き出していた。

歩いたのだ 集まるために。

田畑 を守るために、集まることだ。

赤子を背負って 女も歩いた、

歩くことは 田を守ること 生命を守ること

斎善の横暴で 小作人の田を奪われてはならぬ語り続け 百姓に
決意を込めた歩みが続く、桃生郡前谷地村へ。若者の名は

矢後利明、静岡の人。

夜明けから 田起しが始まった。
前谷地の田に 四百余名の百姓が集まる。
沈黙の中 闘志は瞳の輝きとなる。

黒々と 田が 眼覚めの時を告げた時
襲撃が始まった 騎馬で来た石巻の警官たち、
地主階級の 手先の姿そのままに。



前谷地事件と呼ばれたこの事件を
隣村の少年は 柔らかい心に刻んだ。

少年は長じて 愛深い碩学として農を説く。
卒壽を迎えていまも 热く熱く 語る。

矢後の人生に 自らのロマンを重ねて、
農こそ民の 基となると。

【文中「斎善」とは、戦前、酒田の本間と並び称された

不在地主・斎善株式会社を指す。

その所有農地は一四〇〇町歩を越えていた】

【斎善の土地収奪に抵抗した、この農民闘争は後に
前谷地事件と呼ばれ、現在に伝えられている】

【この作品は、前谷地事件七三年目の三月三一日、「事件に学び、元東北大

教授吉田寛一先生の卒寿を祝う集い」での感動から生まれた】

(一一〇〇一・四・五)



宮城・号外
2024年6月
治安維持法国賠
同盟宮城県本部
〒980-0022
仙台市青葉区
五橋1-5-13
県労連会館3F
☎ 022-222
-6458
F.022-222
-6450

今から96年前……

国賠同盟総会・記念講演会

県内最大の小作争議・前谷地事件

来年は、「治安維持法制定」100周年の年です…

みやぎ県民の『たたかいの狼煙』

千町歩地主・斎藤善右衛門(通称・斎善)の土地取り上げに對して發生した小作争議は、その居村・桃生郡前谷地の名をとつて「前谷地事件」と呼ばれる。この事件の發生は、昭和3(1928)年3月31日のことである。宮城県の農民運動の一画期を作るものであった。

斎善

吉田寛一

他10名著

昭和43年

白本評論社

発行

静岡県出身の矢後利明(本名・利一、1902

~1932)が宮城県に入り、日農県連書記長として、これらの戦いの先頭に立ち、斎善屋敷を見下ろせる場所に墓を』という彼の遺言に基づき、「運動史刊行委員会」が1972年に涌谷・箇岳山頂に『記念碑』を建立した。

酒造・質屋業から明治半ばに「金穀業」(田・畠を担保に金を貸す)に転じた斎善家は、大正末期に養之助が相続。左表のような財産を築いた。全県の小作人が集結した「前谷地事件」は、「県民の戦いの狼煙」であった。



矢後利明君ここに眠る(菊池養之輔・書)

「前谷地斎善家の財産」

(昭和22年・仙台財務局発表)

財産税1605万円(酒田本間家1478万)

【仙台市的一般会計1300万円】

・土地所有 【昭和20(1945)年】

*田畠 1436.2町歩

*宅地 2747.6町歩

*山林 1170.0町歩

・小作料 *小作人 2661人

* 11268石(約28000俵)



裏面に掲載

治安維持法国賠同盟宮城県本部・2024年度総会 「記念講演会」

みやぎ県民のたたかいの狼煙『前谷地事件』

講演 日本年金者組合宮城県委員長 芳賀芳昭さん

日時 2024年7月21日(日)13:30~15:30

【講演は、14:15~15:30どなたも、入場無料です。】

会場 仙台市戦災復興記念館・4F 会議室



みちのく赤鬼人・作

『みんなが歩いていた頃に

前谷地事件の群像』